

IWATE TRUCKING REPORT

2026
No.2

10

岩手県トラック情報



画像提供: 有限会社草紫堂



公益社団法人

岩手県トラック協会

〒0202-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南二丁目9番1号

TEL 019-637-2171 FAX 019-638-5010

ホームページ <https://iwatokyo.or.jp/>

CONTENTS — もくじ —

●(公社)岩手県トラック協会 公式Xアカウント開設のお知らせ	目次下
●岩手県トラック協会青年経営研究会 創立40周年記念式典・祝賀会	1~2
●令和8年度夏期事故防止・労働災害防止パトロール／第57回岩手広告賞・岩手広告美術展表彰式	3
●令和8年度 過労死等防止対策セミナー／令和8年度 車輪脱落事故防止セミナー	4
●トラック適正化二法等に関するセミナー／令和8年度 省燃費安全運転講習会	5
●第33回 私の街に「こんなトラックあったらいいな」絵画コンクール入賞作品	6~7
●【トラックの日事業】岩手ビッグブルズ冠試合に協賛	8~9
●適正化事業巡回指導実施状況【令和8年4月~9月】	10
●否の割合順位別・詳細グラフ【令和8年4月~9月】	11
●災害物流専門家研修開催のお知らせ	12
●会員事業者の関係する重大交通事故の発生状況について【令和8年1月~9月】	13
●正しい車輪の取り扱いで車輪脱落事故ゼロへ。	14~15
●大型車の車輪脱落事故防止対策「令和8年度緊急対策」について	16~17
●トルクレンチの取り扱いと注意点について	18
●(岩ト協ダンブトラック部会)要望活動(東北ブロックダンブ輸送協議会)／ ダンブトラック輸送に関する意見交換会(久慈・二戸支部・大船渡・釜石支部)	19
●(陸災防)技能講習・安全衛生教育等 実施予定【令和8年10月~令和9年1月】／ 第71回岩手県産業安全衛生大会	20
●(陸災防)労働災害発生状況について【速報値】	21
●(陸災防)令和8年度厚生労働省補助事業「災害事例から学ぶ陸運業の労働災害防止対策セミナー」	22
●(公社)岩手県トラック協会開催スケジュール【令和8年10月~令和9年1月】／入退会【9月末時点】	23
●(お知らせ)中小トラック運送事業者向けDX推進セミナー／外国籍ドライバー採用・定着セミナー	24
●(岩手県)運輸事業者運行支援緊急対策支援金(第7弾)申請期間のお知らせ	25
●地域色紹介(一般社団法人日本地域色協会)(盛岡市:南部 紫)	裏表紙

岩手県トラック協会
公式Xを開設しました
 〽 運送業界の情報や協会の日常を発信中 〽

〽 ぜひフォローをお願いします! 〽
@iwatokyo_291

〽 最新のお知らせ・事業案内・イベント情報などをお届けします 〽

最新のお知らせ 事業案内 イベント情報

公益社団法人 岩手県トラック協会

岩手県トラック協会 青年経営研究会 創立40周年記念式典



令和8年7月17日(金)ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(盛岡市)において、岩手県トラック協会青年経営研究会、創立40周年記念式典を執り行い、44名に出席いただきました。

式典開催にあたり、高橋伸光青研会長が演壇に立ち、バブル期の激変の中で組織を立ち上げた先代への深い感謝を述べるとともに、現代の「2024年問題」や「人手不足」といった厳しい課題を乗り越える鍵として、組織の強みである人的ネットワークと仲間同士の絆の重要性を強調した。また、生成AIに関する基調講演は、伝統を継承しながらも次世代のために業界を革新する上で必要となると述べた。最後は、参加者全員で物流の未来を切り拓いていく決意を促し、式典の成功を願う言葉で締めくくり、来賓挨拶では(公社)岩手県トラック協会 黒澤信会長、(公社)東北トラック協会青年部会 門間正人会長からご祝辞を賜りました。

式典では、過去10年の青年経営研究会の運営と発展に尽力した歴代会長へ高橋青研会長から感謝状と花束が贈呈されました。代表して海鋒徹哉様が「東日本大震災での支援などを通じ責任世代として認められてきた。変革期をチャンスに変え、業界の事業価値を高める活動にまい進してほしい」とエールを送りました。



①	岩手県トラック協会 青年経営研究会	第8代会長	石川 啓 様
②	岩手県トラック協会 青年経営研究会	第9代会長	岩淵 力也 様
③	岩手県トラック協会 青年経営研究会	第10代会長	山崎 武 様
④	岩手県トラック協会 青年経営研究会	第11代会長	菅谷 忠寿 様
⑤	平成29年度 東北トラック協会 青年部会	会 長	海鋒 徹哉 様



基調講演では、株式会社サンシンワークス（長野県富士見市）代表取締役 和田賢司 氏をお招きし、「運送会社の中の人教える“地味AI”のすすめ ～経営者が、自分てつくる時代へ～」と題し、ChatGPTの活用例や自作アプリなど、日々の業務を楽しむ「地味AI」の活用法を紹介。「業務効率化にAIを取り入れつつも、判断を委ねるのではなく最終的な意思決定は自分たちで行うことが重要だ」と述べました。



式典後は親睦会も開かれ、創立40周年を機に、更なる団結を固め、持続可能な地域物流の実現に向けて歩みを進める決意を新たにしました。



岩手県トラック協会 青年経営研究会

当会は、50歳までの経営者・後継者・管理者のみなさまが集まり、人的交流や経営幹部としての資質向上を図ることを目的に、様々な研修事業を実施しております。

新規会員大募集



お問合せ先
岩手県トラック協会 青年経営研究会 事務局
TEL:019-637-2171 FAX:019-638-5010



- 活動内容
- * 定例研修会の開催（年度2回程度）
 - * 視察研修事業の実施（視察研修旅行）
 - * 他県青年組織との交流会の実施
 - * 全日本トラック協会青年部主催 各種事業への参加
 - * 「トラックの日」事業の企画・運営
 - * 出張授業

令和8年度 夏期事故防止・労働災害防止パトロール

夏期特有の事故・労働災害について注意を喚起し、上期に発生した重大交通事故・労働災害の「傾向」「特色」を踏まえ、下期に取り組むべき重点項目について情報共有を図り、今年度も全支部において「夏期安全点検パトロール」を実施しました。下期の重点項目としては、「アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認を徹底」・「追突事故の主要因となっている『脇見運転』『漫然運転』『判断誤り』について、防止・指導の徹底」など、全4項目について周知を図った他、「夏の交通事故防止県民運動」と協調し、ポスター、垂れ幕等の掲示や運輸安全マネジメントの年度更新状況など、5項目を点検し事故防止意識の高揚を図りました。

令和8年度 夏期安全点検パトロール 点検項目と結果

①夏の交通安全県民運動ポスターの掲示	98.4%
②「夏の交通安全運動実施中」の垂れ幕の掲示	97.8%
③「夏期労働災害防止協調運動」紙のぼりの掲示	98.9%
④運輸安全マネジメント目標・計画等の公表	98.1%
⑤運輸安全マネジメント前年の達成状況・事故の公表	97.9%

※①～④は「夏の交通安全県民運動」実施期間中にパトロールを実施した事業者のみ対象となっています。

令和8年度 夏期事故防止パトロール実施結果

令和8年7月10日～31日実施

支部	実施日	パトロール実施事業所	班編成	参加者 会員数	関係先同行等
中央	7月23日(木)	196	20	39	盛岡監督署
花巻	7月23日(木)	74	6	15	
北上	7月15日(水)	68	6	15	花巻監督署、北上警察署
水沢	7月31日(金)	61	5	9	花巻監督署、奥州警察署
一関	7月29日(水)	65	10	16	一関監督署、一関警察署、千厩警察署
大船渡	7月23日(木)	31	4	7	大船渡監督署、大船渡警察署
釜石	7月14日(火)	22	3	8	
宮古	7月10日(金)	28	3	6	宮古監督署、宮古警察署
岩泉	7月22日(水)	11	1	1	
久慈	7月14日(火)	29	3	6	二戸監督署、久慈警察署
二戸	7月24日(金)	27	3	6	二戸警察署
路線	7月16日(木)	11	3	7	盛岡監督署
		623	67	135	

第57回岩手広告賞・岩手広告美術展表彰式



令和8年7月29日(水)、盛岡グランドホテルにおいて岩手広告協会主催の第57回岩手広告賞・岩手広告美術展表彰式が開催され、岩手県内から約120名が出席しました。

表彰式では応募146点の中から入賞した58点の広告主、製作者が称えられ、(公社)岩手県トラック協会においては2024年問題をはじめ、様々な物流問題をテーマにした「ヒデ教授の物流研究ゼミ」(6シリーズ)がウェブ広告の部で企画賞を受賞しました。

「ヒデ教授の物流研究ゼミ」(6シリーズ)は(公社)岩手県トラック協会ホームページまたはQRコードよりご視聴いただけますので、是非ご覧ください。



ヒデ教授の物流研究ゼミ

これから未来
みんなで
一緒に
考えませんか？

「ヒデ教授の物流研究ゼミ」フルバージョン各種公開中！

岩手県トラック協会

令和8年度 過労死等防止対策セミナー



SOMPOリスクマネジメント(株)
中濱 春樹 氏

令和8年8月5日(水)13時30分から総合研修会館大研修室において「過労死等防止対策セミナー」を開催し、会員26社から30名の方が受講されました。トラック運送業界において脳・心臓疾患や精神障害に関する労災支給件数は依然として多く、健康起因事故の防止が急務となっています。こうした課題に対応するため、SOMPOリスクマネジメント(株)の中濱春樹氏を講師に招き、セミナーを開催しました。

講義では、運行データや点呼を活用した異変察知、各種スクリーニング検査の重要性について説明があったほか、今年度は新たにメンタルヘルス対策を重点的に取り上げました。精神障害予防のための4つのケアの重要性や、将来的な義務化が見込まれるストレスチェックの留意点・運用手順について具体的な解説がなされました。また、チェックリストを用いたグループワークも行われ、活発な意見交換を通じて職場改善への理解を深めました。



令和8年度 車輪脱落事故防止セミナー

令和8年9月9日(水)、総合研修会館大研修室において、令和8年度「車輪脱落事故防止セミナー」を開催し、会員28社から33名の方に受講いただきました。2024年度における全国の車輪脱落事故は減少したものの、依然根絶に程遠い状況となっており、東北が依然として多く発生している状況を踏まえ、ブリヂストンタイヤ岩手販売(株)様のご協力をいただき、主に整備管理者の方を対象に車輪脱落事故が発生する原因、車輪脱落事故防止に向けてのポイントの解説や、適切な点検や正しいタイヤの交換作業、増し締めの方法等について、座学とトラック車両を用いた実演により理解を深めていただきました。



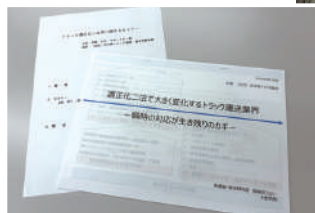
トラック適正化二法等に関するセミナー

令和8年9月18日（金）13時30分から、総合研修会館 大研修室において、トラック適正化二法等に関するセミナーを開催し、会員60社76名の方に受講していただきました。

当日は講師に（株）運輸・物流研究室 取締役フェロー 小野秀昭氏をお招きし、これまでに改正・実施された関係法令や今後導入される許可更新制度等について説明していただき、改めて法令遵守または運行管理等の重要性の理解を深めていただきました。



（株）運輸・物流研究室
取締役フェロー
小野 秀昭氏



国土交通省



https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_mn4_000019.html

全日本トラック協会



https://jta.or.jp/member/kaisei_jigyoho/top/tekiseika_law.html

令和8年度 省燃費安全運転講習会

令和8年9月26日（土）、メイン講師となるUDトラックス岩手（株）をはじめとする、大型ディーラー各社様にご協力いただき、令和8年度の省燃費安全運転講習会を開催し、会員16社から20名の方に参加いただきました。

今年度も総合研修会館（矢巾町）で開催し、講習内容としてはこれまで同様に、①設定コースを通常の運転で走行し燃費を計測。②座学で省燃費運転の講義を受ける。③設定コースを省燃費運転で走行し、燃費の改善を確認していただきました。

昨年度は1回目の通常走行より、2回目のエコドライブの記録が良くなる結果となりましたが、今年度は受講者の日頃からの省燃費意識の高さが反映され、1回目の通常走行から優れた記録が計測されました。2回目のエコドライブ走行においては、添乗記録員のアドバイスを忠実に実践しようと慎重な運転となった面もあり、1回目からの記録更新とはならなかったケースも見られましたが、日常の運転水準の高さと指導への熱心な取り組みが確認できる充実した結果となり、座学、実技を通してエコドライブ・安全運転の知識と技術をしっかりと学んでいただきました。



UDトラックス岩手（株）アフターセールス本部
前野 富明氏 畠山 克人氏

第33回 私の街に「こんなトラックあったらいいな」 絵画コンクール入賞作品決定!!

今年度も岩手県在住の小学生を対象とした『第33回 私の街に「こんなトラックあったらいいな」絵画コンクール』を実施いたしました。今回も子どもたちの沢山の夢が詰まった素晴らしい作品が多数寄せられ(応募82校より423点)、厳正な審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞5点、特別審査員・テレビ岩手アナウンサー 岩瀬 弘行さんに選考いただいた5きげんテレビ賞1点に加え、大型ディーラー賞4点、協会賞10点、佳作15点、努力賞20点の合計56点を選考いたしました。

これら、入賞作品は令和8年9月27日(日)に開催されました、協会協賛の岩手ビッグブルズ冠試合(8ページ参照)の会場内に展示されました。

最優秀賞



『みかけると しあわせになれるトラック♡』 盛岡市立向中野小学校 1年 内田 海彩

本人コメント みんなをハッピーにしてくれます♡キラキラひかっていて、あかるいきもちになれるよ!

えのぐ、ペン、いろえんぴつ、クーピー、たくさんつかって かきました。

審査員コメント 画面いっぱい描かれたカラフルなトラックが、真っ先に目を引く力作です。画用紙を余すことなく隅々まで、一生懸命描いていることも十分に伝わってきました。写真では分かりにくいですが、何度も様々な画材を重ねて使っており、優しい色が表現されています。タイトル通り、幸せにしてくれるトラックになっています。

優秀賞

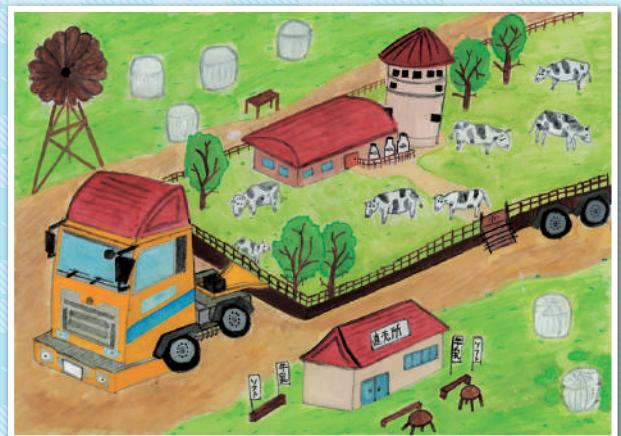


『海の5374トラック』

花巻市立大迫小学校 6年 松坂 優凜

本人コメント 海のゴミで 生き物などが生きていられなくなるし、ちきゅうおんだんかにもつながるから 海のゴミをなくそうと思ったから。

審査員コメント 海の中でゴミを回収する掃除機トラックの姿が、ダイナミックに描かれた作品です。巧みな構図と絵の具の扱いによって、主役であるトラックの存在感が際立っています。特に、不透明水彩の均一な塗りとはばかしを巧みに使い分けることで深みのある海の空間を表現し、トラックの活躍をより一層躍動感あふれるものに表現できています。「5374(ごみなし)」のナンバーもユニークです。



『農場トラック』

花巻市立東和小学校 6年 小原 優駕

本人コメント 小岩井農場みたいに牛がいて新鮮な牛乳やアイスが食べれる。

審査員コメント 農場そのものを荷台に載せて運ぶという、壮大なスケール感と豊かな発想が光る作品です。細部まで緻密に描き込まれたトラックからは、実在するかのような説得力が伝わってきます。主役の魅力を最大限に引き出す構図のバランスも見事で、「こんなトラックが本当にあったら」と思わせてくれます。



『エコトラ』

一関市立一関小学校 4年 林 空我

本人コメント 街に落ちているごみやペットボトルから生まれた「エコトラック」。捨てられるはずだった資源がトラックに大変身。地球をきれいにしながら走ります。

審査員コメント 街のゴミから生まれたユニークな形をした「エコトラック」が目を引く作品です。画面全体がリサイクルの街を表していて、3Rのイメージが形になった世界です。「エコトラック」だけではなく、リサイクルで生まれた段ボールのトラックや船も魅力的に走っています。鮮やかな色彩や配色でゴミがきれいに生まれ変わる姿に、元気をもらえます。



『プラネタリウムトラック』

二戸市立浄法寺小学校 4年 高峯 仁心

本人コメント 雨の日はプラネタリウム、晴れた日は、星空をみられます。いつでもきれいな星座を見せてくれます。

審査員コメント 荷台がプラネタリウムになっているという夢あふれるアイデアが光る作品です。青や紫で表現された奥深い暗闇が、満天の星空の美しさを際立たせています。輝く星に目を奪われる人々の姿が丁寧に描写されており、表情の描き方は特に素晴らしいです。このトラックが運ぶ特別な体験と感動が、まっすぐに伝わってきます。



『くまさん幸せトラック』

花巻市立大迫小学校 3年 松坂 天佑

本人コメント くまの出ぼつが今、問題になっているので、くまが幸せにできる星へ行けるトラックがあったら、人もくまも平和で幸せに安全にできると思って描きました。

審査員コメント 人と熊の両方が幸せになれるトラックの作品です。画面の構図、描画力とても素晴らしい、熊の毛並みは丁寧に短い線を重ねて立体感を出し、広大な夜空ときらめく星々が熊たちの目指す星が美しく引き立てられるように描かれています。こくまが4匹いるので家族の熊だと思えますが、荷台に餌もたくさん積み込まれ新たな星に行っても安心して暮らせそうです。

5きげんテレビ賞



『プールで学べるトラック』

矢巾町立煙山小学校 3年 東山 真弓

本人コメント 私はプールと算数の計算が大好きです。プールを楽しみながら計算ができるトラックをかきました。

審査員コメント 勉強も遊びもどちらも大切。これからも好きなことにどんどんチャレンジしてほしいという応援の意味も込めて選びました。スライダープールのアーチの部分、計算式を反対に書くことで滑りながらも計算できるようになっている表現が素晴らしいかったです。

ISUZU賞

UD賞

HINO賞

FUSO賞



『大人になったら乗りたいデコトラ』

二戸市立福岡小学校 5年 山館 翔太

本人コメント デコダンプです。デコルのが大好きです。(自分も大型車に乗ってお仕事したいです。)



『花がいっぱいトラック』

花巻市立新堀小学校 4年 久保 星叶

本人コメント お花が大好きで、花がいっぱいのトラックがあこがれでした。



『満点の星空☆天の川へLet's go トラック』

盛岡市立本宮小学校 4年 秋山 真来奈

本人コメント おりひめとひこぼしが年に一度7月7日だけに会う物語がすてきだなと思ったから。会う日を何日かふやしてあげたいので天の川トラックをかきました。



『カラフルトラック』

盛岡市立向中野小学校 2年 菊池 真織

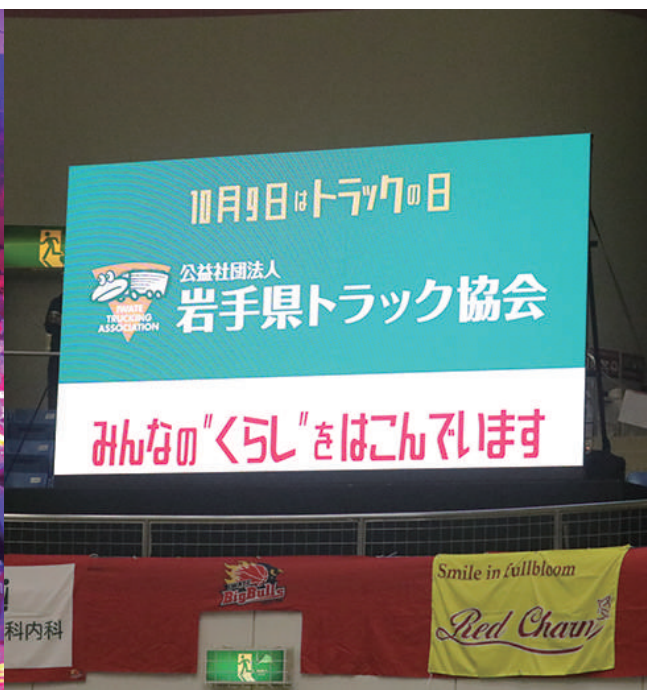
本人コメント 大好きなフルーツのデコトラです。

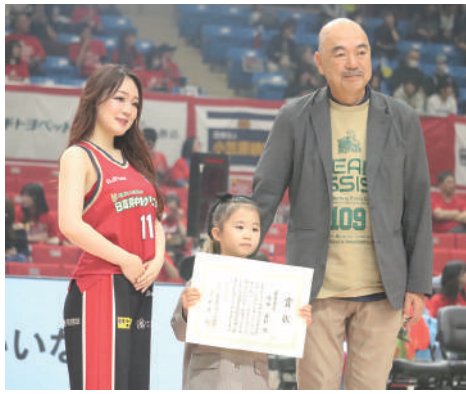


10月9日「トラックの日」 観戦来場者へのPR活動を実施しました。

これまで、「10月9日トラックの日」広報事業として、イベント「トラックフェスタ」を開催してきましたが、これに代わる催しとして、盛岡市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「岩手ビッグブルズ」の冠試合への協賛と、来場者へのPR活動を実施することといたしました。これを受け、今シーズンも岩手ビッグブルズのホーム開幕戦2戦目となる、令和8年9月27日（日）タカヤアリーナ（盛岡市本宮）での試合に協賛、この試合が「（公社）岩手県トラック協会プレゼンツ」として今年度で3年目（3回目）の開催となりました。

試合当日は、朝早くから多くのブースター（ファン）が来場し、会場は熱気に包まれました。こうした中、岩手県トラック協会は青年経営研究会の協力のもと、業界PRチラシを封入したクリアファイルを来場者全員に配布したほか、SNSシェアをしていただいた方にオリジナルグッズを進呈、先着1000名に業界メッセージをプリントした岩手ビッグブルズとのコラボTシャツを入場時に配布し、暮らしに身近で欠かすことのできない、トラック輸送の重要性について来場者にPR活動を行いました。





適正化事業巡回指導実施状況（令和 8 年 4 月～ 9 月）

県内の営業所を訪問し、法令に基づいた運営、帳票類の記入等の指導を行っている適正化巡回指導項目は現在 49 あります。このうち自主点検項目として営業所が自主的に点検する項目は 11、適正化指導員が訪問し、確認する項目は 38 となっております。その 38 項目について、巡回指導の実施結果をお知らせいたします。なお、下表右の欄の①～⑩は、確認時に「不適」となったワースト 10 項目となっておりますので、改めて各社での状況を確認いただき、適切な対応をお願いいたします。

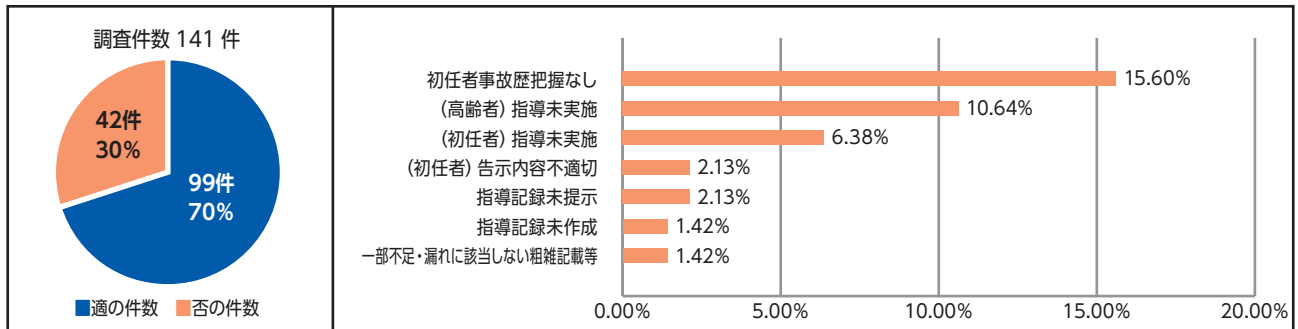
令和 8 年度 巡 回 指 導 項 目 別（岩手県）

令和 8 年 4 月～令和 8 年 9 月

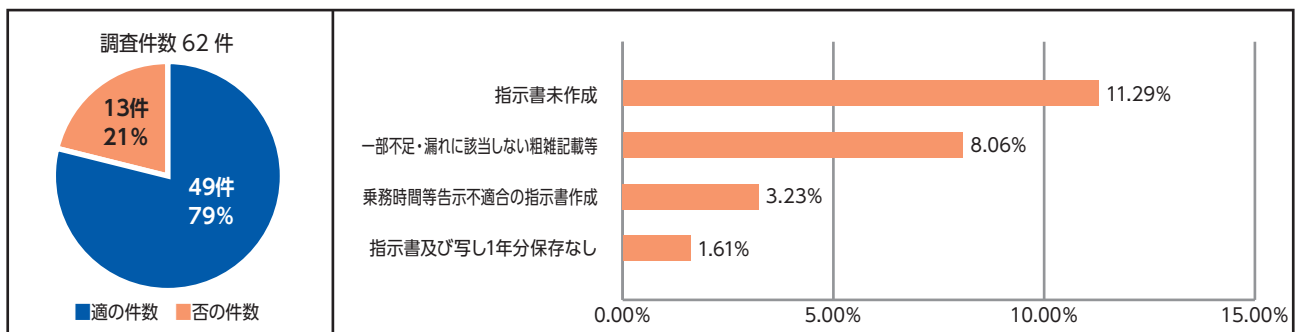
区分	重点	調 査 項 目 (※印は「特別積合せ」のみの調査事項、☆印は霊柩事業者は除外する)	令和 8 年度			■ 令和 8 年度													R8	R7	R6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			調査件数	(西) 件数	(西) 率	5	10	15	20	25	30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
Ⅰ. 事業計画等		(1) 主たる事務所及び営業所の名称・位置に変更はないか	173	1	0.6	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																</

令和8年度 否の割合順位別・詳細グラフ（4月～9月）

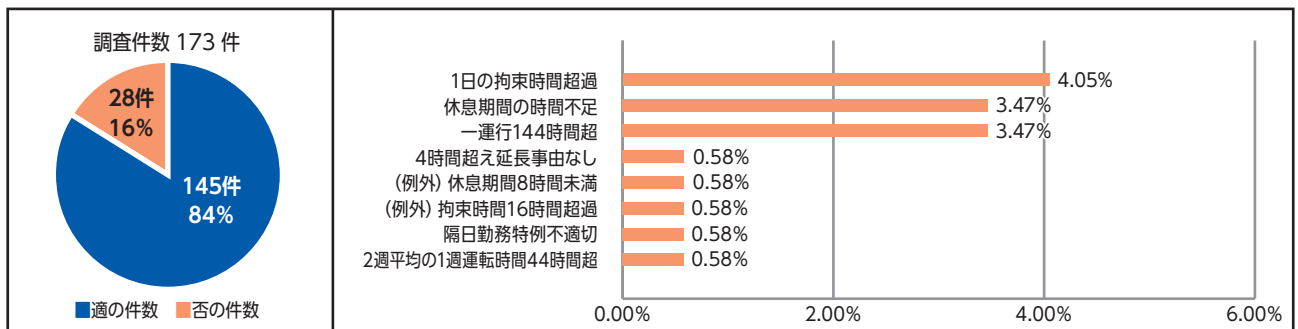
① 特定の運転者に対して特別な指導



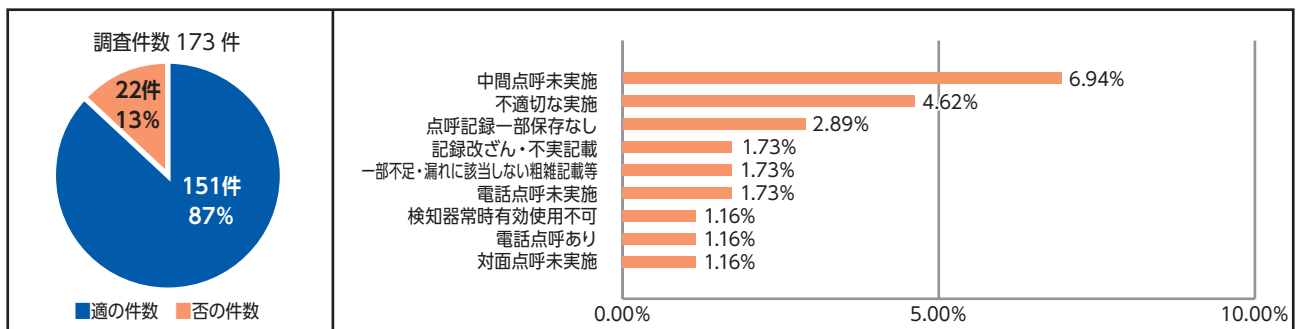
② 運行指示書



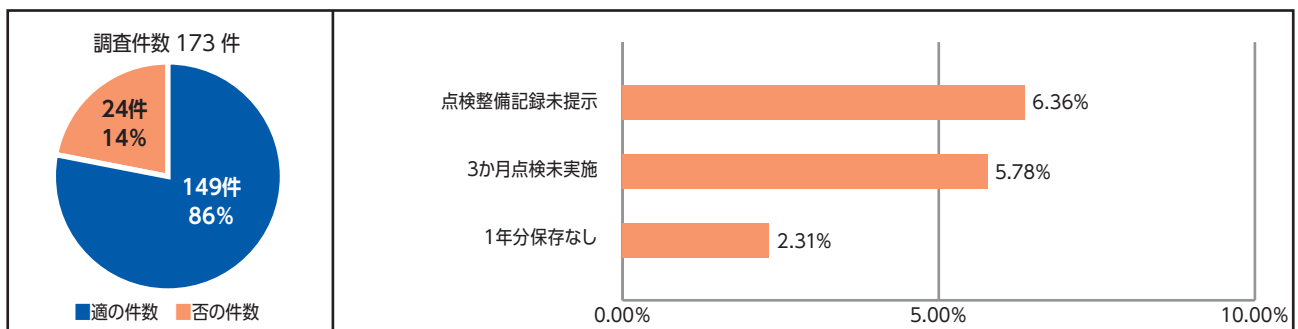
③ 過労防止



④ 点呼



⑤ 定期点検



(適正化)災害物流専門家研修開催のお知らせ

過去の大規模災害時における緊急支援物資輸送では、物流に関する専門的知識を持つスタッフが集積拠点に常駐していないこと等が原因となり、避難所等への円滑な物資の輸送に支障をきたす事例がみられ、課題とされてきました。

このため、当協会を含む都道府県トラック協会及び全日本トラック協会（以下：全ト協）では、今後想定される地震や台風、豪雨などの大規模災害に備え、災害時に自治体が管理する物資集積拠点等にて支援物資の仕分け・管理・輸送等を行う専門知識を身につけた「災害物流専門家」の育成を図るとともに、輸送協定等に基づき自治体より協力を求められた際に、災害物流専門家を紹介・派遣できる体制整備を図ることとしております。

つきましては、より多くの災害物流専門家の育成を図るため、以下のとおり標記研修会を開催致しますので、災害物流専門家候補として、倉庫業務や配車業務等の物流実務をご理解されている従業員様にご出席を賜りたく、宜しく願い申し上げます。

- 1 開催日時 令和8年11月12日(木)10時～13日(金)15時40分
- 2 場所 公益社団法人岩手県トラック協会 総合研修会館
〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南二丁目9-1
- 3 内容 「研修日程表」のとおり
- 4 出席のお申込み方法 研修会出席者を別紙出席連絡票にてご連絡下さい。
- 5 お願い 研修修了者は、全ト協及び当協会が管理する「災害物流専門家研修」修了者リストに登録させていただきます。なお、災害発生時に自治体等から協力要請があった際には、当協会より対応のご協力をお願いする場合があります。

●研修日程表

【第1日】11月12日(木)

10:00～10:10	開会挨拶	(公社)岩手県トラック協会 様
10:10～12:00 (途中休憩あり)	研修① 基礎知識編	(株)NX総合研究所 様
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～15:50 (途中休憩あり)	研修② 拠点編	(株)NX総合研究所 様
16:00～16:50	研修③ 輸送編	

【第2日】11月13日(金)

9:00～9:40	研修③ 輸送編	(株)NX総合研究所 様
9:50～12:00 (途中休憩あり)	研修④ 自治体対応編	
12:00～13:00	昼食休憩	
13:00～13:40	研修⑤ グループ討議説明 演習1の説明 演習1の実施	(株)NX総合研究所 様
13:40～15:20 (途中休憩あり)	研修⑤ 演習2の説明 演習2の実施・発表	
15:20～15:40	修了証配布、アンケート記入	
15:40	終了	

※詳細・申込みは岩手県トラック協会ホームページよりご確認ください。

会員事業者の関係する重大交通事故の発生状況について(1月～9月)

令和8年1月以降、半年以上が経過いたしました。「令和8年重大交通事故・飲酒運転削減目標」に対する9月末時点の状況は、以下の通りです。

令和8年重大交通事故・飲酒運転削減目標

(9/30時点)

- ① 車輪脱落事故の発生件数を「ゼロ」とする。……………1件
- ② 飲酒運転・酒気帯運転を「ゼロ」とする。……………0件
- ③ 第1当事者となる事故の死者数を「ゼロ」とする。……………2人
- ④ 第1当事者となる事故発生件数を2件以内とする。……………5件

●車輪脱落事故について

9月に車輪脱落事故が1件発生(前年同月比: -4件)しております。国土交通省では「大型車の車輪脱落事故防止に係る令和8年度緊急対策の実施について」を発出し、大型車の車輪脱落事故防止対策について積極的な取り組みを実施するよう呼び掛けておりますので、社内の整備管理者・補助者、運転者及びタイヤ脱着作業者に周知・徹底を図るようお願いいたします。

●死亡事故について

第1当事者となる死亡事故が既に2件発生(前年同月比: +1件)しております。うち1件は「追突事故」によるもので、前年から「追突事故」による事故が急増しております。追突事故の主な要因である「脇見運転」「漫然運転」「判断誤り」にお気を付けください。

●飲酒運転について

「飲酒運転・酒気帯び運転ゼロ」につきましては、令和6年3月以降、31ヶ月連続でゼロを継続しております。飲酒運転は決して許されない犯罪行為です。従業員同士、日々声を掛け合いながら、引き続きゼロの継続に取り組んでいただきますようお願いいたします。

●【事故概要】第1当事者となる重大交通事故の発生状況について【令和8年1月～9月】

※地域は事業者所属の地域、カッコは発生営業所の所在地域

主管地域 (所属地域)	月日	道路種別	当事	事故内容	死者	重傷
路線 (北上)	2月15日	東北自動車道 (上り)	1 (2)	22時30分頃、栃木県那須塩原市の東北自動車道上りで、故障により路肩と走行車線をまたいで停止していた中型トラックに大型トラックが 追突 した。 この事故で車外に出ていた中型トラックの運転者(50代)が衝突のはずみで自身の車両にひかれて死亡した。大型トラック運転者(55歳)の脇見運転による前方不注意が原因と見られる。 なお、この事故の影響で黒磯板室ICから西那須野塩原ICの間の上り線で約9時間にわたって通行止めとなった。 ※第2当事者は、水沢地域の会員事業者 ※労働災害の死亡災害(交通労働災害)にも該当	1	
花巻	3月4日	県道交差点	1	14時40分頃、滝沢市鶴飼の県道で、大型トラックが横断歩道を渡っていた 歩行者と衝突 した。 この事故で大型トラックの運転者(58歳)に怪我は無かったが、歩行者(7歳)が左足骨折などの重傷を負った。現場は見通しの良い信号機のある十字路交差点で、信号機が赤に切り替わったことに気付くのが遅れ、横断歩道を左から渡ってきた歩行者をはねたと見られる。		1
路線 (一関)	3月24日	市道交差点	1	11時30分頃、一関市石畑の市道で、トラックと 自転車 が 衝突 した。 この事故で小型トラックの運転者(20歳)に怪我は無かったが、自転車に乗っていた男性(90歳)が腰部骨折などで病院に運ばれたが、その後、死亡が確認された。現場は見通しの悪いT字路交差点で、信号機や標識などはなく、トラックと交差点を右折してきた自転車が 出会い頭 に衝突したと見られる。	1	
中央	6月4日	県道直線路	1	16時55分頃、八幡平市大更の県道で、トラックと乗用車が 正面衝突 した。 この事故で乗用車の運転者(71歳)が両足骨折の重傷を負った。現場は見通しの良い片側1車線の直線路で、トラックの運転者(72歳)が対向車線にはみ出し、衝突したと見られる。		1
北上	7月12日	国道直線路	1	22時36分頃、花巻市西宮野目の国道4号で、トラックと 自転車 が 接触 した。 この事故で自転車に乗っていた方が右上腕および右手首を骨折する重傷を負った。現場は片側2車線の直線路で、事故当時は夜間で雨が降っており、街灯も無かった。自転車に乗っていた方は上下とも黒色のレインコートを着用していた。また、トラックは前走車がいたことからロービームで走行しており、自転車に接触するまでその存在に気付かなかったと見られる。		1

※『重大交通事故』とは、「車両相互」または「人対車両」の事故のうち、死者または重傷者が発生したものを指す。

また、車輪脱落によりタイヤが人に接触した場合も、「人対車両」の事故として取り扱う。

※本資料における「第1当事者」は、警察庁統計(国交省統計も同様)で定義されている過失の重い側(有責側)を指す。

防ごう

大型車の車輪脱落事故

トルクレンチで 適正締付

適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。



おとさめ のための 点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。



さびたナットは 清掃・交換



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。

この2つが特に重要!
事故の多くは清掃・給脂の不足が原因!

ナット・ワッシャー 隙間に給脂



ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。

いちにち一度は ゆるみの点検



運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触るなどして点検します。

©くまね工房



車輪脱落予兆検知装置を取り付けよう!

ホイールナットの緩みなどによる車輪脱落の予兆を検知し、ドライバーに警報。事故防止と負担軽減に役立ちます。
※機能には限界があります。「おとさない」の徹底をお願いします。



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会 (いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDTトラックス) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会

タイヤ交換などホイール脱着時の **不適切な作業** が
原因で車輪脱落事故が発生しています。

インパクトレンチだけで締め付け
錆びたナットを再使用
規定トルク未確認 など

が

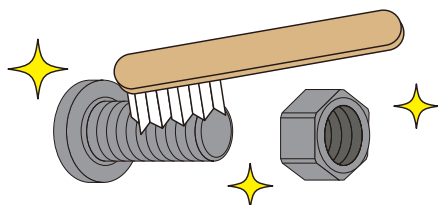
正しい車輪の取り扱いで 車輪脱落事故ゼロへ。



下記3つの注意点について、車載の「取扱説明書」などを参照し、正しい作業をお願いします。

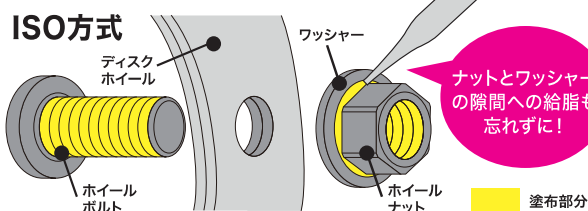
ホイール脱着作業の3つのポイント

1 ホイールボルト・ナット などを清掃・交換する



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面 (ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。錆び、亀裂、損傷が著しい場合は交換してください。

2 ホイールボルト・ナット などに潤滑剤を塗布



ホイールボルト、ナットのねじ部、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。
注) ナットの座面 (ディスクホイールとの当たり面) には塗布しないでください。

3 ホイールナットの締め付けをする

必ず規定の締め付けトルクで
締め付けを行ってください。

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

ホイール締め付け方式	ISO方式 (8穴、10穴)
ホイールサイズとボルト本数 (PCD)	19.5インチ:8本 (PCD275mm) / 22.5インチ:10本 (PCD335mm)
ボルトサイズ ねじの方向	【M22】 左右輪:右ねじ (新・ISO方式) / 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ (従来ISO方式)
ホイールナット 使用ソケット	平面座 (ワッシャー付き)・1種類 / 33mm (従来のISO方式の一部は32mm)
ダブルタイヤ	1つのナットで共締め
ホイールのセンタリング	ハブインロー
アルミホイール履き替え	ボルト交換



アルミホイール・スチールホイールの取り扱いミスによる車輪脱落事故も発生しています。
アルミホイール ↔ スチールホイール組み換え時には、誤組み付け、部品の誤組みに注意してください。

詳しくはこちらの資料をご覧ください ▶ <https://www.jama.or.jp/operation/truck-bus/docs/Torque.compressed.pdf>

詳しい情報は、日本自動車工業会HPをご覧ください

http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/



大型車の車輪脱落事故防止対策 「令和8年度緊急対策」について

大型車の車輪脱落事故が増加していますので、以下の事故防止対策について積極的な取り組みをお願いいたします。

1. 事業主・会社代表者の方へ

車輪脱落事故の危険性及び発生時の社会的影響について、トップダウンにより社内の整備管理者・補助者、運転者及びタイヤ脱着作業者に周知・徹底を行ってください。

また、車輪脱落事故防止のための「お・と・さ・な・い」のポイント（※）について、自社の整備管理者、運転者及びタイヤ脱着作業者に周知徹底を図ってください。

※別紙チラシを参照

さらに、先進安全自動車（ASV）導入補助制度を活用し、車輪脱落予兆検知装置の導入促進を図るなど、ハード面の対策を含め車輪脱落事故防止に努めてください。

2. 整備管理者・補助者の方へ

- ▶ 作業時間に余裕を持った、計画的なタイヤ脱着作業を実施してください。特に降雪地を運行する車両がある場合は、積雪予報が発せられた際に急な交換とならないよう十分配慮してください。
- ▶ 自社内でタイヤ脱着作業を行う際は、正しい知識を有した者が実施してください。
- ▶ 著しくさびたホイール・ボルトやホイール・ナット、ディスク・ホイールでは、適正な締付力が得られないため、タイヤ脱着作業時に点検・清掃や潤滑剤の塗布を行っても、さびが著しいディスク・ホイール、ひっかかり等の異状がありスムーズに回らないホイール・ボルト及びホイール・ナットは、使用せず交換してください。
- ▶ 車輪脱落事故の多い左側後輪について重点的に点検してください。
- ▶ 積雪地域や舗装されていない道路を走行する大型車について、入念に点検してください。
- ▶ 増し締めをやむを得ず車載工具で行う場合の実施方法を運転者やタイヤ脱着作業者に指導してください。なお、車載工具で増し締めを行った場合は、必ず帰庫時にトルク・レンチを使用して規定のトルクで締め付けてください。また、トルク・レンチは校正が必要ですので留意してください。

3. 対策のポイント

依然として、自社でタイヤ脱着作業を行った大型車による車輪脱落事故が多発していることを踏まえた対策

- ▶ 自社内で大型車のタイヤ脱着作業を行う場合、作業者に「タイヤ脱着作業管理表」に沿って作業を実施するよう指示し、その結果を記録してください。
- ▶ タイヤ脱着作業完了後、「タイヤ脱着作業管理表」をもとに適正なタイヤ脱着作業が行われていることを確実に確認してください。
- ▶ 「タイヤ脱着作業管理表」を使用し、増し締めの実施結果を記録してください。
- ▶ 点検実施者に「日常点検表」を使用し、「ディスク・ホイールの取付状態」の点検を確実に行ってください。
- ▶ 増し締め実施後、点検ハンマによる確認手法、ホイール・ナットヘマーキング^(注1)を施す、又は、インジケーター類を装着し、それらのずれを確認する手法により、ホイール・ナットの緩みの点検^(注2)を確実に確認してください。

注1 ホイール・ナットへのマーキング（合いマーク）は、目視によりホイール・ナットの緩みを確認可能とする措置であるため、以下の点に留意して施工する。

- ・マーキングは、対象となるナットが緩んでいないことを確認し、施工する必要がある。
- ・マーキングは、ボルト、ナットに連続して記入する。できれば、座金、ホイール面まで連続して記入することが望ましい。
- ・マーキングは増し締め実施後に施工する。タイヤ脱着時にマーキングを施工したときは、増し締め実施後に再度、マーキングを施工する。この場合、以前のマーキングを消して新たに施工するか、以前のマーキングは残し色違いのマーキングを施工するかのいずれかによる。
- ・マーキングが確認しやすい色（白色、黄色等）を使用する。また、マーキングのずれが目視で判別できるよう、適当な太さで施工する。
- ・マーキングの記入に使用する塗料は、屋外使用に適し、雨や紫外線等に対して耐久性のあるものを使用する。（例：油性顔料インキ）

注2 ISO方式のホイールにおいて、「ホイール・ナットの緩み」の点検を、ホイール・ナットへのマーキング又はインジケーター類による合いマークのずれの確認により行っても差し支えない。

「タイヤ脱着作業管理表」や「日常点検表」のひな型は、岩ト協ホームページトップ画面にあります『令和8年度下期（7月～12月）交通事故・労働災害の防止に向けた重点項目』よりダウンロードできます。

トルクレンチは振動や衝撃、水分に弱い精密機器です！

「**測定精度を維持する**」ため、**慎重な取り扱いが必要です**
下記の点に注意しましょう！



使うときは

- ・落下させたり、強い衝撃を与えない
- ・立てて置かない
- ・ハンマーやテコの代わりに使用しない
- ・雨中や水中で使用しない

使用后

- ・設定トルクは最低値に設定する
- ・保管場所は振動や湿気
ほこりの無い場所に！



トルクレンチは使用に伴い、測定精度に狂いが生じる可能性があるため、定期的な精度確認として
年1回以上の校正（有償）が推奨されています。

注）「トルクレンチ」は使用回数に応じて部品交換を含めた校正（メンテナンス）が必要となります。校正を行わない場合、従来の締め付け力が維持できなくなります。予め購入メーカーにご確認して下さい。なお、校正費用は岩ト協助成対象外となります。

要望活動（東北ブロックダンプ輸送協議会）

ダンプトラック部会は、7月28、29日の両日、東北ブロックダンプ輸送協議会の要望活動に参加し、東北トラック協会との連名で公共工事の発注元である国の出先機関や関係団体など6機関・団体に対して要望書を提出しました。

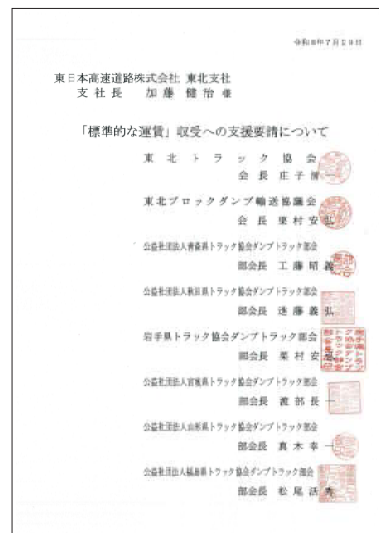
「営業用ダンプトラックの適正利用」に向けて①「白トラ規制」強化の周知徹底と関連通達の遵守、②「標準的な運賃」が支払われるよう関係者に向けた周知徹底、③国の出先機関には「特記仕様書」への標準的な運賃支払いの記載を、それ以外の団体には同運賃支払いに加え「適正な書面契約の締結」の明記などを要望。さらに具体例としてダンプトラックの東北地方における標準的な運賃「大型ダンプトラック8時間制で52,610円と特殊車両扱いによる割増額（2割増）10,552円の計63,132円を例示しました。

参加したのは栗村会長はじめ東北6県の各県部会長と事務局の計15名で、燃料価格や物価高騰の厳しい経営環境の中、多重下請け構造の下位に位置する立場では価格転嫁が厳しい状況を訴えました。

今後は東北各県において県知事、河川国道事務所、建設業協会に対しそれぞれ要望書を提出する予定としている。



東北各県部会長と東北電力(株) 執行役員 資材部長 鈴木 氏



※提出先

- ①国土交通省 東北地方整備局
- ②農林水産省 東北農政局
- ③防衛省 東北防衛局
- ④東北建設業協会連合会
- ⑤東日本高速道路株式会社 東北支社
- ⑥東北電力株式会社

ダンプトラック輸送に関する意見交換会（久慈・二戸支部、大船渡・釜石支部）

ダンプトラック部会は、4月17日（久慈・二戸支部）と8月21日（大船渡・釜石支部）にそれぞれ両支部合同の意見交換会を開催しました。

今年度より始めた合同の意見交換会では、法改正への対応と適正運賃の収受を通じてダンプ業界の地位確立を目指し、支部間の連携を深めることで地域課題の解決に向けての決意を新たにしました。

主催者挨拶では釜石支部の上野委員に代わって細越澤氏が「トラック適正化2法や新制度への理解を深め、共通認識の下で適正取引の推進や安全輸送につなげたい」と挨拶。

両会に出席した兼田副部会長（久慈港運（株））は近隣県と比較して安価に利用される「岩手料金」の現状を危惧し「段階的な単価引き上げに向け、支部間の連携強化は不可欠」と訴えました。

冒頭では「トラック適正化2法」の概要や各地域の現状を確認。白トラの規制強化で営業用ダンプの需要増が見込まれる中「利用運送」の届出状況を精査し注意を促しました。

また、運賃改定交渉での荷主からの据え置き要請への対応方法やダンプ特有である「特殊車両割増（2割増）」の正当性を荷主に説くための理論武装、新規ドライバーの採用成功例や若手育成の好事例など実務に即した議論を行った他、秋田県での協同組合の発足・運営など他地域の注目事例も紹介されました。

今後は10月（中央・花巻支部）、11月（宮古・岩泉支部）、12月（水沢・一関支部）にて同様の開催を予定している他、隣県から北東北地域での定期的な開催要請も受けており、今後検討予定としている。



釜石支部
細越澤 弘 氏



8/21に開催した「大船渡・釜石支部」での様子



4/17に開催した「久慈・二戸支部」での様子

令和8年度 技能講習・安全衛生教育等 実施予定 (令和8年10月～令和9年1月)

陸災防岩手県支部主催の各種技能講習、安全衛生教育につきましては、以下の通り開催いたしますので、積極的かつ計画的に受講いただきますようお願い申し上げます。なお、詳細につきましては、ホームページに掲載しておりますのでご確認願います。(申請書含む)

また、岩手県トラック協会の助成制度（一部項目を除く）もご利用いただくことができますので、合わせてご確認ください。

会場：矢巾（岩手県トラック協会 総合研修会館） 金ケ崎（岩手県トラック協会 水沢研修会館）

技能講習 安全衛生教育	はい作業主任者	矢巾会場	定員80名	11/19(木)・20(金)	高さ2m以上のはい(荷扱い)作業に必要な作業を直接指揮する方の資格取得のための技能講習です。
	安全衛生推進者 能力向上教育(初任時)	金ケ崎会場	定員30名	10/23(金)	事業場単位で従業員数10名以上50名未満の場合に選任が必要な「安全衛生推進者」に対する能力向上教育。
	荷役災害防止 担当者教育	金ケ崎会場	定員30名	12/3(木)	「荷役作業の安全対策ガイドライン」での選任が必要な「荷役災害防止担当者」に対する能力向上教育。
	フォークリフト 運転業務従事者教育	金ケ崎会場	定員30名	11/6(金)	危険有害な業務(「就業制限」)に現に就いている者(資格取得者)に対する能力向上教育。
	作業指揮者 車両系・積卸し	矢巾会場	定員30名	11/26(木)・27(金)	車両系：フォークリフト等の「車両系荷役運搬機械等」を用いて作業する際に選任が必要な作業指揮者に対する能力向上教育。 積卸し：一の荷でその重量が100kg以上のものを貨物自動車に積卸作業を行う際に選任が必要な作業指揮者に対する能力向上教育。
特別教育	テールゲート リフター操作業務	金ケ崎会場	定員40名	10/30(金)	令和6年2月1日以降、テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業に従事する労働者に対し、特別教育を行うことなどが事業者には義務付けられました。

第71回岩手県産業安全衛生大会

令和8年9月29日(火)、都南文化会館キャラホールにおいて第71回岩手県産業安全衛生大会が開催され、岩手県内から約470名(陸災防岩手県支部会員からは75名)が参加しました。

大会の開催にあたり、岩手労働災害防止団体連絡協議会 会田会長(東北電力岩手支店長)が「労働者の安全と健康の確保は経営の最重要課題。各事業場の取り組みを一層、実行あるものとしてほしい」と挨拶を述べました。

表彰では今年度、陸災防推薦の(株)岩崎商事が事業所賞を受賞し、表彰式終了後は(株)水清建設の水本孝代表取締役が働き方改革の事例を発表し、日本がんサバイバーシップネットワーク(東京)の高橋都代表理事による治療と仕事の両立支援に関する特別講演が行われました。

大会の結びに12項目において日常の労働衛生活動の総点検を行うこととし、参加者一人一人が労働災害防止に向けた安全衛生活動の推進と労働災害撲滅に全力で取り組むことを確認しました。



労働災害発生状況について【速報値】

令和8年9月17日現在の、労働災害発生状況についてお知らせいたします。

労働災害発生状況(岩手県)〔令和8年8月:速報値〕

令和8年9月17日現在

		死 傷 災 害 (休業4日以上)			死 亡 災 害		
		令和8年	令和7年	増 減	令和8年	令和7年	増 減
製 造 業		191	173	18	1	1	0
	転倒災害 (内数)	48	47	1	0	0	0
鉱 業		4	1	3	1	0	1
	転倒災害 (内数)	1	0	1	0	0	0
建 設 業		95	111	-16	2	0	2
	転倒災害 (内数)	18	21	-3	0	0	0
運輸交通	道路貨物	76	96	-20	1	0	1
	転倒災害 (内数)	16	15	1	0	0	0
	その他 (旅客等)	9	10	-1	0	0	0
	転倒災害 (内数)	5	5	0	0	0	0
貨 物 取 扱		1	0	1	0	0	0
	転倒災害 (内数)	0	0	0	0	0	0
農 林 業		43	39	4	1	0	1
	転倒災害 (内数)	6	4	2	0	0	0
畜 産 水 産 業		47	36	11	0	2	-2
	転倒災害 (内数)	12	4	8	0	0	0
商 業		134	125	9	0	0	0
	転倒災害 (内数)	76	61	15	0	0	0
通 信 業		11	10	1	0	0	0
	転倒災害 (内数)	3	4	-1	0	0	0
保 健 衛 生 業		109	98	11	0	0	0
	転倒災害 (内数)	51	37	14	0	0	0
接 客 娛 楽 業		56	47	9	0	0	0
	転倒災害 (内数)	22	26	-4	0	0	0
そ の 他		91	92	-1	0	0	0
	転倒災害 (内数)	45	43	2	0	0	0
合 計		867	838	29	6	3	3
	転倒災害 (内数)	303	267	36	0	0	0

道路貨物運送業における『労働基準監督署』別の発生状況

		合 計	盛 岡	宮 古	釜 石	花 巻	一 関	大船渡	二 戸
死亡災害	令和8年	1	0	0	0	1	0	0	0
	令和7年	0	0	0	0	0	0	0	0
	増 減	1	0	0	0	1	0	0	0
	令和6年	0	0	0	0	0	0	0	0
	【備考欄】								
死傷災害	令和8年	76	33	1	1	30	9	2	0
	令和7年	96	37	2	2	41	9	0	5
	増 減	-20	-4	-1	-1	-11	0	2	-5
	増 減 率	-20.8	-10.8	-50.0	-50.0	-26.8	0.0	-	-100.0
	令和6年	81	31	1	4	26	7	2	10
	【備考欄】								

令和8年度厚生労働省補助事業 「災害事例から学ぶ陸運業の労働災害防止対策セミナー」

令和8年9月10日（木）、総合研修会館大研修室において、令和8年度厚生労働省補助事業「荷役作業安全ガイドライン説明会」を開催し、39社から42名の方が受講されました。

陸上貨物運送事業の労働災害発生件数は近年増加傾向にあり、特に荷役作業に関係する労働災害が多発しています。

こうした状況を踏まえ、岩手労働局労働基準部 健康安全課長 田上博数氏、陸上貨物運送事業労働災害防止協会

安全管理士 今井候氏を講師にお迎えし、陸運業において実際に発生した6つの労働災害をもとに、その発生要因やメカニズム、そして具体的な再発防止に向けた作業手順の遵守や点検の重要性について説明いただき、受講者は職場の安全衛生対策を見直し、安全衛生水準の向上に向けて理解を深めました。



岩手労働局労働基準部
健康安全課長 田上 博数 氏



陸上貨物運送事業
労働災害防止協会
安全管理士 今井 候 氏

荷役作業の労災防止

荷台・テールゲートリフター・フォークリフト・作業動作の危険を防ぎましょう

荷台での墜落・転落防止



- 保護帽・滑りにくい安全靴を着用
- 昇降時は足元確認、3点支持を意識
- 荷物を持ったまま無理に飛び降りない
- 雨天・雪・凍結時は特に注意

荷崩れ・荷の落下防止



- 積荷の固定・固縛を確実に行う
- あおりやウイングを開く前に荷の状態を確認
- 荷の近くに立ちすぎず、安全な位置で作業
- 不安定な荷は一人で扱わない

テールゲートリフターの安全使用



- 昇降前に足元と周囲を確認
- 荷と自分の立ち位置を意識し、端部に寄らない
- 昇降中は人を乗せず、安全な位置で操作する
- 異常時はすぐ作業を中止

フォークリフト接触災害の防止



- 運転は有資格者が行う
- 歩行者立入禁止エリアを守る
- 発進・後退・旋回時は周囲確認を徹底
- 荷を上げたまま急停止・急旋回しない

安全な作業動作



- あわてず、合図・声掛け・指差確認
- 無理な姿勢、片手作業、反動動作を避ける
- 重い荷は複数人または機器を活用
- 作業手順を守り、自己流で行わない

作業前の基本確認



- 作業場所の段差・滑り・障害物を確認
- 使用機器の異常の有無を確認
- 危険箇所は共有し、役割分担を明確にする
- 不安全状態を見つけたら放置しない

➤ **ルールを守り、声を掛け合い、安全な荷役作業を徹底しましょう** ➤

(公社)岩手県トラック協会開催スケジュール(令和8年10月～令和9年1月)

今号では、現時点で開催が決定している当協会の行事・講習会等のスケジュールを掲載しております。

なお、今後開催が決定するセミナー、講習会その他の行事につきましては、当協会ホームページおよび会員事業者の皆様へのメールにて随時ご案内いたします。

事業者の皆様におかれましては、最新の情報をご確認のうえ、各行事の内容に応じてご参加をご検討くださいますようお願いいたします。

10月	26日(月)	●プラン2030目標達成セミナー
	27日(火)	●改善基準告示解説セミナー
11月	17日(火)	●トレーラ適正使用研修
	18日(水)	●外国籍ドライバー採用・定着セミナー
12月	29日(火)	●年末年始休暇
	30日(水)	
	31日(木)	
1月	1日(金)～3日(日)	●年末年始休暇
	4日(月)～	●通常業務
	20日(水)	●新春講演会・新年交賀会(ホテルメトロポリタン盛岡 ニューウイング)

会員の動きについて

(令和8年7月～令和8年9月末日)

入 会	8月1日	東北陸運(株)宮古営業所 〒027-0001 宮古市日立浜町27-18 TEL 0193-65-7818 / FAX 0193-65-8033	宮古支部
	9月7日	(有)シンエイ 〒020-0664 滝沢市鶴飼笹森10番13 TEL 019-684-2666 / FAX 019-684-3456	中央支部
休 止	5月30日	東山運輸(株) (休止期間:2026/8/1～2027/7/31)	一関支部

中小トラック運送事業者向け DX推進セミナー

物流効率化・情報化推進・データ経営を学ぶ

働き方改革に対応した労働時間短縮等、労働環境改善対策の一環として、中小トラック運送事業者における情報化推進による生産性の向上と「データ経営」による見える化などDX推進の実現を支援すべく、機器及びシステムの活用事例を紹介する標記セミナーを開催します。参加方法は会場での対面形式もしくは、オンライン形式(ZOOMによる聴講)からお選びいただけます。



 開催日時

令和8年 **11月10日(火)**
13:30~17:00

 会場

岩手県トラック協会 大研修室/
オンライン(zoom)

 セミナー対象者

中小トラック運送事業者の
経営者及びシステム
担当者等



セミナー内容

第1部 講義

- 1 物流効率化とDX推進
- 2 中小トラック事業者におけるDXの取組み
- 3 中小トラック事業者向けA1入門
- 4 DX活用事例
- 5 情報セキュリティと個人情報保護

※内容は予定であり変更の場合があります。

第2部 DX機器・システムのデモンストレーション



 講師

株式会社TUMIX 代表取締役
小久保輝夫氏

詳細・申込みは岩手県トラック協会ホームページよりご確認ください  岩手県トラック協会

外国籍ドライバー 採用・定着セミナー

特定技能制度や採用成功事例、定着率向上のポイントを
わかりやすく解説



概要

日時：令和8年11月18日(水)
13:30~15:00

※14:50~質疑応答・個別相談を予定

 場所：(公社)岩手県トラック協会/大研修室

 参加料：**無料**

内容

- 特定技能制度の解説
- 外国籍ドライバー採用成功事例のご紹介
- 高い定着率を保つための秘策とは？
- 質疑応答、個別のご相談

講師

フォースバレーコンシェルジュ株式会社
マネージャー 大庭 良介氏 佐藤 光氏

岩手県



県内で貨物運送事業を営む皆さまへ

第7弾

運輸事業者 運行支援 緊急対策支援金

支援金額 対象車両1台につき **25,000** 円



早めの申請をお願いします

申請受付期間

令和 8 年 11 月 27 日 (金)

申請方法、必要書類のダウンロードは岩ト協HPの支援金特設ページをご確認ください

https://iwatokyo.or.jp/shienzigyou_7/



スマホからも確認できます



申請書類の提出先及び本件に関するお問い合わせ先

- ・受付時間 9:00～17:00 (土日・祝祭日を除く)
- ・提出先 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南2-9-1
(公社) 岩手県トラック協会内 岩手県運行支援緊急対策事業 事務局
- ・電話 019-637-2171 ・E-mail shienzigyou@iwatokyo.or.jp

“ムラサキ”の木霊で織りなす、

高貴の色。

慈しむほどに、時を経るほどに、

永遠という時間を刻むかのよう。



Colors

南部 紫

地域色ページ



南部紫根染とは、希少さゆえに藩政時代は門外不出とされた植物・南部産“ムラサキ”を使う草木染です。

明治維新で南部藩の保護を失い一時は完全に途絶えた紫根染が、地元の努力によって甦ったのは大正5年のこと。

手絞りによる独創の模様と、絶妙の染めムラ。

そして時を経るごとに味わいを深めていく「南部 紫」の高貴な色彩が、この地に復活したのです。独自技法の火を消しはしない。そのためにもムラサキの国産栽培にこだわっていく……

揺ぎない決意とともに、紫根染の伝統を守り続けます。

【画像提供: 有限会社草紫堂】



豆知識

「南部紫根染」

日本古来の染色のひとつで、南部地方（岩手県）には鎌倉時代に伝わったと言われる紫根染。江戸時代には藩の重要な産業として保護されていましたが、明治に入り衰退してしまいます。しかし大正5年に発足した「南部紫根染研究所」によって見事復活。現在は、研究所の中心メンバー・藤田謙さんが創業した「草紫堂」が、その伝統の色を守り続けています。

地域色名

南部 紫

エリア

東北 岩手県 盛岡市

色彩値

DICナンバー

DIC228

CMYK

C62 M95 Y26 K31

RGB

R95 G38 B91

HTML

#5f265b



一般社団法人 日本地域色協会の取り組み



色と物語で
地域の魅力を
伝える

一般社団法人日本地域色協会は、地域が持つ特有の文化や自然環境などの資源を、色・色名称・物語で定義した「地域色」としてまとめ、広く伝える「いいいろ」活動を行っています。

地域色は、地域資源の魅力をわかりやすく伝えるだけでなく、色やストーリーへの共感を通じて新たなファンや応援の輪を広げる役割を担います。

また、地域プレーヤーと専門家が関わりながら地域資源の特性や地域性を掘り下げ、色名称・物語を共通していくプロセスそのものも大切にしています。こうした取り組みを通じて、地域文化の継承と復興、そして地域社会の発展につなげていくことを目指しています。

いいいろ
にっぽん
1116

一般社団法人 日本地域色協会の概要

設立
代表理事

令和2年6月
竹村 育貴

所在地
HPアドレス

〒240-0045 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町1225-10
<https://1116nippon.net>



協会ページ